



2021年10月15日

各 位

会社名	トヨタ自動車株式会社
代表者	取締役社長 豊田 章男
(コード番号	7203 東証・名証第一部)
お問合せ先	資本関連事業部長 蜂須賀 正義
(TEL.	0565-28-2121)

2021年11月 生産計画について

当社は11月の生産計画の見直しを決定しましたので、お知らせします。
本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

以上

11月 生産計画について（10/15時点）

8月以降、新型コロナウイルス感染拡大等に伴う部品供給不足による生産計画の度重なる見直しにより、関係の皆さまには様々なご不便をおかけしております。また生産維持に向けた多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。

11月の生産計画について以下のとおりお知らせいたします。

8月以降、計画比での減産が続く中、関係仕入先の皆さまと共に、サプライチェーンにおける部品不足の可能性のある事案を一つ一つ徹底的に検証してまいりました。その結果、グローバル生産台数は、85～90万台となる見込みです。

<ご参考> 20年11月：約83万台、21年9月/10月：各約50～60万台レベル>

当初、11月の生産計画は挽回生産分を織り込み、さらに高い100万台レベルの生産を目指しておりましたが、依然一部において部品不足の影響が残ることから、国内で約5万台、海外で約5万～10万台、グローバルで合計約10万～15万台の見直しを行うものです。

今後も引き続き、関係仕入先の皆さまとともに、一部で続く部品不足に対するあらゆる対策を図ってまいります。また、自社工場内及び仕入先各社での防疫対策の徹底を行うとともに、半導体逼迫の長期化も見据え、できる限りの代替検討を進めることにより、お客様に1台でも多く、1日でも早く、お車をお届けできるよう尽力してまいります。

2022年3月期の通期生産台数見通しは、東南アジアでの新型コロナウイルスに対する規制緩和が図られてきていること、また9月と10月の減産幅が前回公表時から、10～15万台縮小できる見込みであることから、引き続き900万台レベルの維持を見込んでおります。

なお、これらの計画見直しに伴う11月の国内稼働停止は、以下の通りとなります。お客様及び関連仕入先の方々には、今回の変更に伴い、様々なご不便をお掛けすることをお詫び申し上げます。

<11月の稼働停止>（全14工場28ライン中、4工場6ライン）

工場名		稼働停止日程	生産車種
トヨタ自動車	堤工場	第2ライン <1日> 5(金)	カローラスポーツ、カムリ、ES
トヨタ自動車九州	宮田工場	第1ライン	<2日間> 12(金)、19(金)
		第2ライン	<1日> 12(金) ES、RX
トヨタ自動車東日本	岩手工場	第1ライン	<5日間> 4(木)、5(金)、8(月)、12(金)、15(月) C-HR、アクア
		第2ライン	<4日間> 4(木)、5(金)、8(月)、12(金) ヤリス、ヤリスクロス、アクア
	宮城大衡工場		ヤリスクロス、シエンタ、 加-ラアクシオ、加-ラフィールダー、 JPN Taxi

以上